

田子町ビジネスチャレンジ支援事業費補助金 活用事例レポート

挑戦者の声 Vol.3

株式会社あおいもりトレーディング いがらし 五十嵐 たかなお 孝直 さん

補助対象事業

令和3年度 バクテースパイスのグッズの試作及びテスト販売

令和4年度 旅行業ツアー募集サイトの制作

令和5年度 ロッジカウベルHPの作成



移住した田子町で好きな仕事に チャレンジしていきたい

補助金制度を何で知りましたか？

地域おこし協力隊任期中に、町の担当者から、様々な情報提供がありました。
この補助金はその中の1つでした。

活用に至ったきっかけは？

以前、活用した方々の取り組みを知り、自分もチャレンジしてみようと思ったことが
きっかけでした。

田子町で挑戦する人を応援します！

田子町ビジネスチャレンジ支援事業費補助金制度 活用事例レポート

補助金活用後現在の事業に影響がありましたか？

ホームページ制作、ツアー募集サイト制作し現在も運用しております。PRにも効果的で業務効率も上がりましたし、業績UPにもつながりました。



活用したことで地域に貢献できたことは？

ロッジカウベルのホームページを作成したことで認知度が上がり、田子町に滞在する時間（日数）が増え、地域内での消費額がアップしていると思います。
また、以前は町外の企業が指定管理者だったようですが、令和6年に田子町で株式会社を設立、町と連携した事業の運営ができています。

ご自身の事業によって田子町の課題解決に寄与したことは？

町が所有する遊休施設の運営が持続化できつつあることです。



この制度と支援について聞きました。

事業者の事業成長に必要な補助金制度の改善点は？

事業規模にあわせた補助の上限額や補助率の検討が必要ではないかと思っています。チャレンジ後、事業成長課程において現状の補助金の上限額だと大きな成長が見込めないのではないかと思っています。

新たなチャレンジを経験し今後必要な商工業支援は？

誘客を目的にした観光フェアに出展する機会があります。観光に関連する企業と田子町（商工振興課）と一緒に出展するなど、指定管理者と自治体で観光事業を連携することが必要だと思っています。ニーズに対しすぐに回答できない場合でも、町がすぐ回答できない理由などの説明があると無いのでは、相手に与える信頼度が違うのではないかと実際の対応から感じたことがありました。

（具体例として、旅行フェアに出展した際、ある企業からロッジカウベルに雲海の定点カメラ設置が可能か判断できず持ち帰ってきた経緯がありました。）